



生涯学習だより

2018年(平成30年)
8月 Vol. 205

生涯学習だよりはWEBでも配信中!フルカラーでご覧いただけます→[ございんホール](#) [検索](#)

【報告】地域学校協働活動事業 総合的な学習「こけしをさぐろう」

7月11日(水)、遠刈田小学校4年生は「こけしをさぐろう」の学習でこけし工人である佐藤勝洋さんを講師にお迎えし、遠刈田の「伝統こけしの歴史についての講話」や「絵付けの指導」を行っていただきました。講話では自分たちの住む町、遠刈田こけしの歴史や特徴などを学び、熱心に話を聞いていました。絵付けの指導では、遠刈田こけしの特徴である細い目や模様など一つひとつ丁寧に描き方を教えてもらい、子どもたちは「難しい〜!」と言いながらも楽しんで描いている様子が見られました。今回の活動を通して遠刈田こけしがより身近なものに感じられる学習になりました。



【報告】平成30年度インリーダー合宿研修会

7月28日(土)から29日(日)にかけ、宮城県志津川自然の家にて小学校4~6年生を対象としたインリーダー合宿研修会が開催されました。本研修会は、町内小学生の相互交流とリーダーとしての資質向上を目的としており、本年度は20名が参加しました。いかだ作りやシーカヤックなどの海浜活動を中心としたプログラムを計画していましたが、台風の影響により屋内でのレクリエーションや創作活動が中心となってしまいました。しかし、参加者たちは学校や学年の垣根を越えて、仲良く元気に活動していました。

また、子ども会活動を中心に活躍している中高生の「ジュニア・リーダー」2名もスタッフとして参加し、活動のサポートをしてくれました。2日間の合宿を終え、インリーダー、ジュニア・リーダーともにたくましい姿となりました!合宿に参加したみなさんの、これからの活躍が期待されます!



【開催】公民館講座「日常英会話講座」

英語を母国語にしている(ネイティブスピーカー)の先生と一緒に、楽しく英語を学びましょう。講師は日本語も堪能で、蔵王町内の学校で子どもたちを教えているアンダーソン先生です。英語と一緒に、外国の文化も体験しましょう。

- ・開催日時/9月4日(火)開始 毎週火曜日 全20回
午後7時~午後8時30分
※日程は変更になる場合があります。

- ・会場/ございんホール 研修室
- ・対象/町内在住、または通勤・通学されている方
- ・参加費/各回500円 高校生以下無料
単発受講要相談、出来るだけ継続的な出席をお願いいたします。

- ・持ち物/筆記用具
- ・講師/アンダーソン・村上先生(アメリカ人)
- ・定員/特になし
- ・お問合せ/ございんホール 電話 33-2018

一緒に英語を楽しく勉強していきたいと思っています!楽しみに待っています!



アンダーソン・村上先生

【報告】公民館講座「糸と針で作るビーズアクセサリ講座」

簡単に始められて、本格的なアクセサリを手作りできる「ビーズアクセサリ」の講座が、6月2日から7月21日まで、計4回行われました。参加者の皆さんにとって、ビーズアクセサリ作りは始めてでしたが、講師の先生の丁寧な指導のおかげで、全員時間内に素敵な作品を完成させることができました。だれでも、いつでも手軽に始められるビーズアクセサリサークルとして活動を続けることとなりました。第1回目の活動日は8月18日を予定しています。参加ご希望の方は生涯学習課までご連絡ください。



【お知らせ】9月から再開します ~週末ございん寺子屋~

子どもたちの学習を支援するございん寺子屋を再開します。1学期は昨年よりも多くの方々が来室して学習していました。2学期も小学生から中学生の皆さんの学習する機会を提供し、学力向上を図りたいと考えています。指導者(大学生)が待機していますので、友だちと誘い合ってください。

開設予定日(土曜日)

9月	1日、15日、22日
10月	6日、27日
11月	17日、24日
12月	1日

時間 午前9時~午前11時30分

場所 ございんホール

※2学期は8回実施します。(毎週ではありませんのでお気を付けてください)

急な変更等についてはございんホール内に掲示してお知らせいたします。

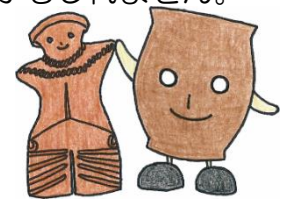
【文化財コラム】蔵王の山を見上げた人びと~山脈を越えた縄文人の交流~

電車や車のない縄文時代、自分の足だけで奥羽山脈を越えて行くのはとても大変なことに思えます。しかし、町内の縄文ムラの遺跡から発掘されたモノを見ると、縄文時代、蔵王の山を取り巻く地域では、とても活発に人やモノ、情報の交流があったことが分かります。

縄文人の生活必需品だった石器の材料になる石は、ほとんどが山形から運ばれてきたものです。宮城と山形では、形や文様が良く似た縄文土器が作られていました。町内の谷地遺跡で出土した土偶と、山形県舟形町の西ノ前遺跡で出土した土偶(国宝)のデザインも、驚くほど良く似ています。また、遠く離れた北陸産のヒスイや黒曜石も出土していますが、これらも山形の縄文ムラを経由して運ばれてきたことでしょう。

自然に対する知識が豊富な縄文人も山越えには難儀したはずですが、彼らの目には蔵王の山は決して障壁ではなく、同じ山を見上げる縄文ムラ同士の絆の象徴として映っていたのかもしれない。

※ここで取り上げた出土品の一部は、現在開催中の文化財展⑩「蔵王山麓の縄文ムラIー谷地遺跡の発掘調査成果」(ございんホール展示室にて8月26日(日)まで)で見ることができます。



【ございんゆるコラム】いわれたらうれしいなあ

「あなたは私にとって大切な人です」ってやさしく言葉で伝えたことがありますか?

恥ずかしくて、照れてしまって、あらためて声に出してみようとは思わないかもしれませんね。そんな当たり前のこと口に出したりはしないものだ!という意見もあるかもしれません。ぜひ、伝えてください。このひと言で救われるかも。

いろんなことを家族でおしゃべりする中で感じ取れることもあるでしょう。言わなくてもわかっているはずはゴカイを生み、おもいぢがいのくりかえしのうちに、いつしか苦しむ心のいやしの居場所がわからなくなってしまうかもしれません。そのあげく、こんな社会がしぶんをここまでおいつめた、と社会に復讐をと吐き出し口の照準を合わせ... (近頃そんな事件がつついております)。そうならないように、小さな愛から少しずつ会話の多い家庭を育てていけるとよいですね。もちろん、おとうさんも話の輪の中に入ってくださいな。家族でたのしくお話ししましょう。お待ちしております。

お問合せ/蔵王町ふるさと文化会館 電話: 33-2018 FAX: 33-2019
平成30年8月15日発行 編集 蔵王町教育委員会生涯学習課